

K. A. 社会システム学科・2 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

子どもの頃から海外に興味があり、大学で留学したいと考えていました。しかし社会システム学科なのであまり留学の情報が入ってきませんでした。そのため自分で国際交流センター（2016 年度より国際課に名称変更）に行き情報を得て協定留学というプログラムを見つけました。この留学は 2 年から行けると知り、1 年の時は留学説明会に参加したり、TOEFL の勉強をしたりしていました。そして、2 年次秋スタートの 1 年留学を目指しました。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

私は TOEFL の点数で出願しようと思っていたので、TOEFL の参考書を買ってそれを行ったり、高校の時に使っていた文法の教材や単語帳を見返したりして勉強していました。そして私は 1 年の時から社会システム学科の CASE という英語のプログラムを履修していたのでそれも英語学習方法の 1 つでした。

③ 留学決定から出発までの準備期間

留学が決定してからは時間がかかるといわれていた予防接種とビザの申請にとりかかりました。一般の病院では取り扱っていない予防接種がいくつかあったので、梅田まで行って受けていました。ある程度期間をあけて打たないといけない予防接種もあり、すべて打ち終わるのに 3 か月ほどかかりました。ビザはオンラインで申請し、面接予約も全てネットで行いました。面接は朝早くに行ったのですがすぐに終わりましたが、ビザが手元に届いたのは出発ギリギリでした。そしてクレジットカードは VISA と Master カードの 2 枚を作りました。全て早めに始めたつもりでしたが、結果出発ギリギリになってしまったので留学が決定してからすぐに始めればよかったなと思いました。英語の学習については授業や同女の留学英語基礎講座などを利用して勉強していました。

④ 現地到着後

事前にチャタムのアドバイザーの方に到着予定時刻を伝えていたので、それに合わせてアドバイザーの方が車で空港まで迎えに来てくださいました。Chatham University と書いてある紙を持っていたのですぐそのアドバイザーの人が分かりました。その日は夜遅くに着いたので、簡単な手続きをして自分の寮に入りました。次の日からキャンパスツアーやオリエンテーションなどがあり、細かい手続きなどの説明を受けました。

⑤ 語学研修期間

◆ **語学研修先の施設・環境について**

語学研修も正規授業と同じ教室で受けていました。少人数用の教室で日本ほど大きくなくアットホームな感じで授業も受けやすかったです。教室などがある建物は丘の上であり、周りは自然に囲まれてリスや鹿なども見かけることがあるとても静かで穏やかな場所でした。勉強するには最高の環境だったと思います。

◆ **授業内容、課題、試験**

最初に英語のテストを受け、その結果でクラス分けされます。クラスメイトはサウジアラビア、中国、インド、コロンビア人のように国際色豊かでしたがやはり日本人が倍ぐらい多かったです。月、水曜日はコミュニケーション（スピーキング、リスニング）、グラマーの授業を受け、火、木曜日はライティングとアメリカの文化を学ぶ US カルチャーという授業を受けていました。コミュニケーションの授業はプレゼンテーションが多く、課題も毎回出たので一番大変でしたが一番成長できた授業でもありました。試験はどの授業も基本ペーパーテストでした。

⑥ **正規科目履修期間**

◆ **大学の施設・環境について**

語学研修の項目でも述べたように大学のキャンパスは丘の上であり自然に囲まれています。図書館や小さなカフェ、プールやジムなどの施設もありました。大学の近くには大型スーパーやレストラン、日本の品物が売ってあるスーパーもありました。バスは時間通りに来ないことが多かったですが、ピッツバーグ市内のバスも電車も学生証があれば無料で利用できるのもとても便利でした。

◆ **履修科目**

秋学期は語学研修の ELP (English Language Program) の授業とヨガを受けていました。春学期は ELP の授業を 2 つと正規授業を 4 つを受けていました。

◆ **授業、レポート、定期試験**

• **East Asian Studies**

この授業では中国、日本、韓国、北朝鮮の歴史や文化を本やアニメ、ドラマを通して学びました。アメリカからの視点で自国や近隣の東アジアの国について学ぶことができたので面白かったです。この授業はライティングがメインだったのでかなりの量のエッセイを書きました。そして数回ディスカッションやプレゼンもあったので力がついたと思います。

• **Introduction to Comparative Politics**

この授業では内閣制度や選挙制度などの政治に関することを世界の国々の事例を取り上げながら学んでいました。5~7 ページのリサーチペーパー提出が 1 回と筆記試験が 3 回あり

ました。内容も単語も難しく、先生の話すスピードも速かったので理解してついていくのが大変でした。授業後、分からないところを先生に質問し行ったりクラスメイトにノートを見せてもらったりしていました。

・ Chatham Semester International Internship

この授業は留学生向けの授業でアメリカのビジネスについて学んだり、就職の時に必要なレジュメの作成や面接の練習をしたりしました。自分でアメリカの企業について調べて発表する機会もあり、週 1 回の授業でしたが内容が濃く受けてよかったですと思います。先生もとても優しく、毎回お菓子などを持ってきてくれていました。

・ Squash

週 2 回で基本男女分かれて練習や試合をしていました。授業内容はゆるく、テストなどありませんでした。私はテニスをずっとやっていたので息抜きとしてこの授業を取りましたが、初心者の子も多かったです。留学生は私 1 人でしたが先生もクラスメイトも全員優しくしてくれて仲良くなれたので取ってよかったですと思います。

・ Yoga and Relaxation

週に 3 回あり、本格的なヨガだったので予想以上に結構ハードでした。しんどい時もありましたが、勉強の合間のいい運動になったのでよかったです。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

クラブなどには入っていませんでしたが、チャタムで行われるイベントには参加していました。例えば、植林や近所の施設の清掃といったボランティア活動などをしました。様々な人と交流できたのでいい経験になったと思います。

⑧ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

現地ではアパートに住んでいました。アパートの一室には 1 人部屋、2 人部屋、リビング、バスルーム、キッチンがありました。私は韓国人のルームメイトと 2 人部屋を使っていました。食堂のご飯に飽きたりした時は、キッチンを使ってルームメイトと日本食や韓国料理を一緒に作って食べていました。アパートから教室や食堂までが他の寮に比べて少し遠く、階段を毎回上らなくては行けませんが住みやすかったです。

⑨ 長期休暇の過ごし方

日本からだとは距離的にも金銭的にもなかなか行けないようなところがピッツバーグからだだと安くすぐ行けたので、友達とアメリカ国内を旅行していました。私はワシントン D.C.、ボストン、シカゴ、フロリダに行きました。長期休暇にピッツバーグを散策したりもしました。普段行かないような場所にも行けておもしろかったです。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

特に何もしていませんでした。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

アメリカ国内を旅行するのも楽しかったですが、現地で仲良くなったインターナショナル生やアメリカ人とご飯を食べに行ったり、ピッツバーグの人気スポットに出かけたり、買い物しに行ったり、ルームメイトと毎日会話したりといった普段の日常が何よりも楽しかったです。アメリカ人はもちろん、色んな国の人と仲良くなって話したり遊んだりすると日本では味わえない新しい文化に触れられて面白かったです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

英語での意思疎通の難しさを実感しました。あと自分の知っている常識が通じなくて苦勞しました。現地で触れる英語はスピードがはやく、人によって少しアクセントも違い、スラングも飛び交っているので理解できないことが多々あり辛かったです。しかし、ちゃんと聞き直すと分かりやすく話してくれるし、こちらの話もゆっくりでも聞いてくれるので、分からないことは流さないで聞き返す勇気を持つことが大切だと思いました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

アメリカ人はお風呂に毎日入らないし、使用したものが汚れていてもあまり掃除をしないので驚きました。そして時間にはルーズなどがあるので授業開始時間や様々なオフィス（ポストオフィスなど）の営業時間、交通機関など時間通りでないことがよくありました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

キャンパスが自然に囲まれて静かで穏やかなところにあっただのととても過ごしやすかったです。大学から歩いて行ける範囲やバスで少し行ったところにはスーパーやレストラン、日本の商品が置いてある店などがあり不便に感じたことはなかったです。そして大学の規模があまり大きくないので少人数で授業が受けられ、先生や他の生徒との距離が近かったのでよかったです。しかし食堂のご飯は合わず後半は飽きてあまり食べられませんでした。皿などの食器がきちんと洗えていなかったりと衛生環境も悪かったです。あと日本人の留学生が結構多かったです。ELP の授業はほとんど日本人でした。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

向こうではレポートや課題の提出はほとんど、履修登録なども全部パソコンでやっていたのでパソコンは必須です。私は小型の湯沸かしポットを持って行ったのですが、お茶やイ

インスタントの食べ物を食べる時など結構役に立ちましたし、折り畳み傘も役に立ちました。あと日本からのお土産を持っていくと話のネタになったりしてよかったです。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

リスニング力が一番上がったと思います。そして、授業では発言する機会や自分の意見を言う機会が結構あったので、発言力や意見を曖昧にせずはっきりと伝える力はついたと思います。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

私は留学に行きたいとずっと思っていて説明会とかにも参加していましたが正直ギリギリまで悩んでいました。時間もお金もたくさんかかるし、長期間向こうでやっていけるか不安だったので簡単には決められませんでした。しかし、行かないで後悔したくなかったし、人生一度きりで将来いつ行けるかもわからない、今しかないと思って行くことに決めました。留学では多くのものが得られるし、普通に生きていたら絶対に出会わない人にもたくさん出会い自分の視野も交友関係も広くなり成長できることは間違いありません。今となっては本当に決断して行ってよかったと思っています。今、行く前の私と同じように悩んでいる人、行きたい後悔したくないという気持ちがあるのなら挑戦するべきだと思います。説明会や国際課に行けばアドバイスがもらえたり、相談にも乗ってもらえるので行ってください。大きな1歩を踏み出す勇気を持って、悔いのない学生生活を送ってください！

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

英語が活かせて、国境を越えて人の役に立てる仕事がしたいと考えています。

V. 写真



ベネズエラ、インド、ベトナム、中国、日本の友達とダウンタウンに行った時の写真です。
このメンバー（男の子以外）でよく出かけたり、ご飯を一緒に食べたりしていました。
後ろに写っているのはピッツバーグのベースボールスタジアムです。



チャタムの日本語の授業に時々参加してアシスタントをしていました。



チャタムに行く前に同女で出会って仲良くなって、アメリカでもとても優しくしてくれた友達です。



スカッシュの授業最終日に撮った写真です。クラスメイトもコーチもみんな面白くて優しくて自由に楽しかったです。ちなみにこのポーズはコーチのアイデアです（笑）



一番長く一緒にいて、一番仲良しだった韓国人のルームメイトです。毎日夜まで話したり、ご飯を作ったり、勉強したり、出かけたりしていました。この写真は大学の近くにある Target という大型スーパーで撮ったものです。よく2人で、写真に写っている水やトイレットペーパーなどの日用品や食料を買いに行っていました。

S. I. 英語英文学科・3 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

高校生の頃に英語学習の楽しさを知り、実際に現地に行ってより深い実用的な英語の勉強をしたいと思うようになりました。大学に入学し、単位互換が可能である協定留学をするという具体的な目標を持つようになりました。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

各語学テスト（TOEFL や IELTS）の特徴を知り、IELTS を出願のために受験しよう決めました。各語学テストにははっきりとした違い・特徴があるので自分に合ったテストを把握するのも大事だと思います。IELTS を受験するにあたり、イギリス英語が基盤となるテストなので、アメリカ英語とイギリス英語でスペルが違う単語に焦点を置いて勉強するなど少し工夫して学習していました。あとは対人でのスピーキング試験だったため、アルバイトで積極的に英語を使って接客するなど初対面の人と話すことに抵抗がなくなるようにしていました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

学内内定をいただいてすぐに予防接種を受けました。たくさん受けないといけないので早めに行動した方が良いと思います。また渡米する前には必ず歯科で検診をしてもらうことをお勧めします。英語学習に関しては同じ洋画を字幕あり、なしで何度も観て耳が自然な英語に慣れるようにしていました。あとは初めてとなる海外での生活を色々想像してモチベーションを上げていました。

④ 現地到着後

8 月下旬に出発ということで台風が直撃し、成田から乗り継ぎ地であるシカゴに行く際に飛行機がしばらく飛ばず、シカゴで予定していた飛行機に乗れませんでした。まさかのアクシデントで焦りましたが、なんとか代替りの飛行機のチケットを手配することができ予定より 12 時間遅れて大学に到着しました。もし予想外のことが起きても冷静に行動することが大切だと思いました。

⑤ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

レンガ造りのとても雰囲気のある建物で学ぶことが出来ます。丘の上にあるのでとても静かで緑が多く、特に夜は星がきれいで毎度感動していました。図書館は 24 時間開いていて、レポート提出前日はよく利用していました。敷地内にあるカフェテリアでは友達との憩い

の場になっていました。

◆ **履修科目**

◆ **授業、レポート、定期試験**

<秋学期>

• **Introduction to Sociology**

社会学について広く学びます。課題として单元ごとに数枚のワークシートを提出します。先生がとても気さくな方でとても楽しい雰囲気の授業でした。中間テストと期末テストがありますが、直前に配られるスタディーガイドをしっかり復習すれば心配することはありません。

• **American Literature**

アメリカ文学について学ぶ授業です。比較的短編の小説を読み、みんなで意見を交換します。ひとつの文学作品にしても読む人によって色んな解釈の仕方があり、とても興味深かったです。課題は毎回ありますがその中でも短編物語を作る課題があり、いい息抜きになりました。中間と期末に単語を含むリーディングテストがあります。

• **American Culture and Cinema**

映画に関する専門的な単語や知識を学びます。週に1本の映画を見て、それについての小テストやワークシートがありました。自分では見ることのないジャンルまで幅広く見ることができるのでいい気分転換になります。映画監督やアメリカの映画に関する文化についてのプレゼンテーションをしました。

• **International Internship Preparation Seminar**

アメリカのビジネスマナーを学んだり、実際に英語でレジュメを作成し面接練習をしました。留学生のための授業なのでとてもアットホームな雰囲気で、先生も慣れない日本語を少しでも覚えようとしてくれていたのがとても嬉しかったです。18時からの授業ということで毎回先生がドーナツやクッキーなどの食べ物を持って来てくださりました。

• **Hip Hop Dance**

元々ダンスが好きだったのでヒップホップを受講しました。先生はとても明るい方で難しいステップがあると、できるようになるまで熱心に教えてくれます。思っていたより本格的なヒップホップダンスでしたが、毎授業とても楽しみにしていました。テストはありませんが、みんなの前でパフォーマンス+レポート1枚、または芸術に関するレポート数枚の提出があります

<春学期>

• **History of Social and Political Thought**

マルクスやレーニンなど高校の倫理で出てくるような人物の思想を色んな観点から深く学ぶ授業です。週に一度の授業ということもあり、リーディングの量がとても多く専門的な単語ばかりでとても苦労しました。ディベート中心の授業なのでしっかり予習しないと授業についていくのは難しいです。テストが 1 回あり、持ち込み可でしたが 2 時間半フルで使っても解ききることはできませんでした。クラスメートもみんなとても難しいと言っていました。課題は細かく設定されていましたが、先生はちゃんと努力を評価してくれるので頑張ることができました。

・ East Asian Studies

主に東アジアの歴史について学びます。もちろん日本のことも取り扱われるので、現地の学生が日本に持っている印象を知ることができてとても面白かったです。また、自分が日本語で学んでいたことを英語で学びなおすことが興味深かったです。テストは 3 回とそれに伴ってのワークシート、また数回のレポートを提出します。テストに関しては教科書をしっかり読み、ワークシートの復習をしっかりすれば大丈夫です。ただ、毎テストとも、とても範囲が広いのでワークシートには時間に余裕を持って取り組んだ方がいいかもしれません。

・ Academic Composition

アカデミックなエッセイの書き方について実践を交えながら学びます。論文の書き方や引用の仕方など細かい部分まで学ぶことができるので大変役に立つと思いました。テストは単語や授業で学んだことを確認する内容のものが 2 回あります。

・ US Culture in Pittsburgh

ピッツバーグの文化や歴史、建物など幅広く学びます。自分の知っている場所が出てくると嬉しかったですし、また知らない場所が出てくると週末に行ってみようかなとワクワクしながら授業を受けていました。単語テストとピッツバーグに関するテーマのエッセイ提出が複数回あります。

⑥ クラブ、課外活動、ボランティア活動

特にしていませんでした。

⑦ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

私は秋学期、春学期ともに大学内にある Fickes という寮でベトナム人とアメリカ人の 3 人部屋で生活していました。ふたりともとても優しく、色んな話をして盛り上がりました。寮生活でマイナスだった点を挙げるとするならば、私が住んでいた寮は Freshman がほとんどだったので夜遅くまで騒がしいことが多々ありました。しかし部屋の窓から見える木をふと見るとリスがいたり、とても落ち着くお気に入りの寮でした。寮から授業棟までは

歩いて約 5 分ほどなので、いつもギリギリまで寝ていました。学食は私に合わず、日本食を親に送ってもらったり大学の近くにある日本〇〇で購入したり、たまに外食するなど対処していました。

⑧ 長期休暇の過ごし方

寮で過ごしていたときはルームメイトが旅行や帰省で 1 人だったので大学周辺を散歩したり、他の国から来た留学生と部屋に集まって一緒にご飯を作って色んな話をするなど充実した毎日を送っていました。あとは友人と何度かニューヨークに旅行し、比較的ピッツバーグから近いワシントン D.C.には日本という夜行バスで行きました。西海岸にも行けばよかったなと少し後悔しています。

⑨ 留学期間中の就職活動の取り組み

11 月にボストンで開催される最大規模のキャリアフォーラムに参加し、意欲を高めました。3 月の解禁時にはリクナビやマイナビなどを使い、積極的に企業にエントリーしました。最近では WEB を通してエントリーシートを提出する企業が多いですが、もちろん郵送の企業もあるのでしっかりと締切日に余裕を持って書いていました。3 月下旬にある企業に ES 通過の通知をいただきましたが、4 月上旬に参加必須のセミナーがあり、一時帰国の難しさから結局選考を辞退することになってしまいました。事前に企業側に帰国予定月を伝えるべきだったと反省しています。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

世界各国の子たちと友達になれたことです。このタイミングで留学をしていなかったら一生出会う事がなかっただろうなと思うと本当に出会えてよかったなと思います。他愛もない話やときには真剣なことを相談したり、共に苦楽を共有した存在なのでこれからもずっと頼りにできる子たちに出会えたことはとても大きいです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

私の場合はやはり食事が合わなかったことです。ご飯が食べられず、それがストレスになって体調を崩すこともありました。しかし、旅行や大学の外へ少し足を伸ばすなどリフレッシュをすることでゆっくりとそのストレスは解消されていきました。毎日過ごしていると自分のストレスになることも出てくるかもしれませんがうまく気分転換することが大切だと思います。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

日本が気遣いの文化であるとするならアメリカは主張の文化だと思いました。これは渡米

前から知っていたことでしたが、実際に生活して生の文化に触れるとその意味が痛いほど分かりました。私が住んでいた寮内での騒がしさはそれに当てはまると思います。これは人によるのかもしれませんが（実際に私のルームメイトのアメリカ人は気遣いができる子でとても居心地が良かったので）、誰かが指摘するまで収まりません。他の人が寝ている時間だからといって静かになることはありませんでした。あと、基本的にバスは定時に来ないので良い意味でも悪い意味でも心に余裕ができます。それを文化の違いと受け止めてしまえばストレスになることもありませんでした。アメリカでは知らない人でも目が合うと微笑みかけたり、すれ違う際に「あなたの服、素敵ね!」や「髪型いいね!」など伝え合う文化があります。とても素敵だなと思い、私も真似していました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

Chatham 大学の周りにはたくさん大学があり、学生がいっぱいいるので積極的に外へ出れば大学外でも容易に友達を作ることができます。大学を出て少し歩けばカフェやレストラン、ディスカウントストア、古着屋などがあるので生活に必要なものはすぐ揃いますし気分転換がともしやすいです。またバスや電車は大学の ID カードを持っていれば無料で乗れます。悪い点は Chatham 大学は留学生の数がそれほど多くないので現地の学生は留学生に対して少し閉鎖的な部分があるように感じました。近隣にあるピッツバーグ大学はとても大きい大学で留学生もたくさんおり、とても社交的な雰囲気だったので小さい大学であるがゆえに雰囲気が違うのかなと思いました。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必須です。課題のためだけではなく、旅行の計画を立てるときや就職活動の際にも役に立ちます。S 字フックはアメリカに売っていません（少なくとも Chatham 大学周辺で売られているのは見たことはありませんでした）。そんなに荷物になるものでもないのを持って行って損はないと思います。日本のドライヤーやコテは変圧器を持っていけば使えますが、荷物になるので私は現地で購入したものを使っていました。あとはアメリカに売っている薬は強すぎて日本人の体に合わないそうなので風邪薬や常備薬は少し多めに持って行った方がいいと思います。私は日本では風邪を減多にひかないのですが、アメリカでは何度か体調を崩してしまいました。体調面に心配ない人も念のため一応持っていくことをおすすめします。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

特にリスニング力とスピーキング力が留学前と比べて格段に伸びました。留学中英語しか

しゃべらなかつたというわけではありませんでした。帰りの飛行機では日本語の「緑茶」という単語が出てこずにグリーンティーと言ってしまったときは思わず笑ってしまいました。あとは実際にアメリカで旅行中など自分が知らない土地で困ったときに「大丈夫？」と話しかけられるだけでも落ち着くことができたという経験から困っていきそうな外国人観光客の人によく話かけるようになりました。物事に対してためらうことが少なくなったかなと思います。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

旅行と生活は違います。生活をする中で初めて得られる価値観があると私は身をもって学びました。旅行ではないのでももちろんつらいことや苦しいこともありますが、それら全てが自分の成長へと繋がりました。ぜひ、大きな希望を持って留学をしてください！留学は自分を大きく変える絶好の機会です。貴重な留學生活を悔いなく送れるよう、何事にも諦めずに頑張ってください！

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

アメリカで日本の文化、魅力を話す機会があったとき、「日本へ行ってみよう」という言葉を聞くことが多々ありとても嬉しかったです。そういった経験から、英語を使うということはもちろん、日本の良さを世界中に発信することで社会に貢献できるような職に就きたいと思うようになりました。留學前は将来に対して英語を使えたらいいなという漠然とした夢しかなかったのが、将来したいことを発見できた留學は本当に自分にとって大切な経験となりました。

V. 写真



私のお気に入りの場所です。夜になると黒く見えている部分に街の明かりがたくさん見えてとてもきれいです。



私の部屋の窓から見える木には時々リスが登っていました。

H. K. 英語英文学科・3年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

高校 1 年生の時にカナダに 2 週間程の語学研修に参加しました。短期間ではありましたが、それがきっかけで海外や英語を使うことに興味を持ちました。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

私は IELTS を利用して出願しました。IELTS の勉強自体は本を少し読んで、試験の傾向をつかむぐらいでした。英語の勉強自体は、授業をなるべくネイティブの先生のものを受講したり、積極的に参加することをこころがけていました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

語学に関しては、映画を見たり、NHK のテレビで英会話を見たりしていました。ビザ申請はすごく時間がかかりました。（私は日本国籍ではないためにみんなより時間がかかったのかもしれませんが）書類などはできるだけ早く集めることをお勧めします。

④ 現地到着後

空港からは OIA のスタッフ（私にとってはアドバイザー）の方が迎えに来てくれました。到着時間は午後 11 時くらいでしたが、そこから大学に向かい部屋の説明やルールを確認し部屋に向かいました。その時に Wi-Fi のパスワードを教えてもらえます。到着してから 1 週間程度留学生だけのオリエンテーションや、新入生を対象にした学校全体のオリエンテーションが行われます。その間に友達を作ったり、学校の説明を受けることができます。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

授業は一般の学生が授業を受ける教室と同じ場所で行われます。20 人くらいの学生が余裕をもって受講できる広さです。

◆ 授業内容、課題、試験

・ Academic Communication Skills

スピーキングを中心に Academic Class を受講するための勉強をしました。

・ U.S Pittsburgh

名前の通りピッツバーグの歴史や有名人について学びました。フィールドトリップにも行きました。

・ American Cinema&Culture

映画が好きだったので受講しました。授業とは別に毎週映画を見るのが求められました。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

ESL の授業と同じ建物で行われていたので、移動がすごく楽でした。また私の住んでいた寮からは徒歩 1 分なので位置的にはとてもありがたかったです。

◆ 履修科目

・ East Asian Studies

アメリカではアジアについてどのように学ぶか興味があったので受講しました。先生も学生も留学生をすごく歓迎してくれます。難点は、日本のことはすべて知っていると思われていたことです。リーディングの量もとても多くて大変ですがその分、力も付くし内容的には難しくないのです。おすすめします。

・ Korean Language and Culture (Pitt)

違う大学の雰囲気を知ってみたいかつたことと、韓国に関係した授業を取りたくて受講しました。授業内容は韓国語と英語を言語学的に比較することでした。毎回の課題に加えファイナルもかなり多めのレポートを要求されるので大変でしたが、興味がある内容だったので楽しかったです。

・ Internship Preparation

就活を目の前にしていたことと、将来海外でも働きたいと考えていたため参加しました。アメリカのビジネス文化を理解したり、面接の練習や企業研究を行いました。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

課外活動は行っていませんが、Facebook で近くのイベントを探したりしていました。

⑧ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

寮は図書館からもカフェからも授業が行われる建物からも一番近かったです。私は Woodland という寮に住んでいました。部屋は 2 人部屋で現地の 1 回生と一緒に住んでいました。階ごとに共同のキッチン、トイレ、お風呂がありました。1 階にはビリヤードとテレビがある大きな部屋があり、そこでミーティングを行い寮のルールを学期の初めに聞きます。

食事はミールプランがあるので、昼食夕食は基本的にダイニングで食べていました。buffet形式で自分が好きなものを食べられますが、毎日行くと飽きてしまうので、外食もたまにしていました。カフェでは飲み物（コーヒー、シェイク、ジュースなど）と軽食を買って食べていました。

⑨ 長期休暇の過ごし方

旅行に行きました。私は西海岸には行かず、ピッツバーグから比較的近いところへ行きました。

した。NY、シカゴ、ワシントン D.C.、などそれぞれ 2~3 泊しました。また、長期休暇の半分くらいは寮で課題をしていました。年末年始はピッツバーグで友達と過ごしました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

11 月のボストンキャリアフォーラムに参加しました。企業の説明を聞いて回りました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留学生同士で集まってパーティーをしたことと、仲良くなったアメリカの友達と喋ったりごはんを食べに行ったこと。もちろん旅行も楽しかったです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

レポートが大変で、3 日ほどちゃんと睡眠をとれなかったこと。普段の生活で特につらいことはなかったです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

アメリカ人の子はよく発言します。授業中だけでなく普段の生活でも物事に対して意見をはっきり言う方だと思います。

III. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点はピッツバーグという町が学生にはとても過ごしやすかったことです。学校の ID カードを持っていると、バスも美術館もすべて無料です。また、近くに大学が密集していて、比較的治安も良いです。チャタムほどの教授もとても熱心に教えてくれるため、留学生も頑張れば授業にしっかりついていけます。

悪かった点は、Student Affair の対応が良くなかったことです。アウトレットのバスを登録したのに何の連絡もなくキャンセルされたことが 2 回くらいありました。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンはもちろん必要です。生活用品は現地で安く買えるので必要ないと思います。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

英語のリスニング力はすごく上がったと思います。アメリカに行つてすぐのころは店員さんが話しているのが聞きにくかったのですが、後半はしっかり聞くことができました。留学前と留学後で一番変わったことは、勉強に対するモチベーションだと思います。アメリカの学生は図書館にこもったり、日本より勉強しているように感じました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

英語に触れる機会をたくさん作っておくと、アメリカに行ってからもすぐ現地になじめると思います。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

今は就職と進学の両方を視野にいれています。

V. 写真



大統領選挙が近かったことで、ピッツバーグ大学にミシェル・オバマ夫人が演説をしに来ました。授業がなかったので見に行ったのですが、人多すぎてびっくりしました。

（写真は演説が始まる前）



アメリカに行ったらやりたかったことの1つ、アメリカンフットボールをみてきました。



East Asian Studies の授業で仲良くなった友達とモーニング。彼女には本当にお世話になりました。